

感震機能付住宅用分電盤

性能表示
 (一社)日本記録システム工業会認定品
 (JWDS0007付2にもとづく)

出火予防性能
 感震遮断 ★★★
 予防範囲 ★★★

性能表示は「大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会」によって取りまとめられた「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン(平成27年2月)」による。



震度5強相当以上の地震を感知して電気回路を自動的に遮断します。

動作時には、とでお知らせし、約3分後に主幹漏電ブレーカを遮断します。

主幹漏電ブレーカは電気機器の安全を確認してONIにしてください。

特長

- 動作時にはとでお知らせ!
- 感震センサーユニットはパールテクトブレーカ2個分のサイズ!
- 震動センサーとマイコンの組み合わせで動作が安心!

専用主幹漏電遮断器



トリップコイル引出し装置付
漏電遮断器(2P2E)

GB-2EC

専用主幹漏電遮断器



トリップコイル引出し装置付
漏電遮断器(3P2E)

GBU-53-1HEC GBU-63-1HEC
GBU-73-1HKC GBU-103-1HKC

感震センサーユニット

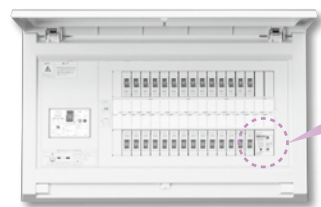


ES-2B[SHTトリップ方式]

- 1) 工場組込出荷専用
- 2) ミニTOP専用
- 3) 分岐2個サイズ
- 4) 外部警報出力付
- 5) 電源が上側専用

トリップコイル引出し装置付の専用漏電遮断器とセットで組み込まれています。

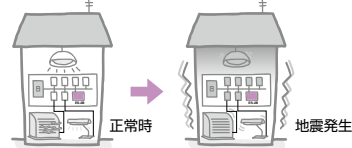
組込例



ブザー付



感震センサーユニット
ES-2B



感震センサーユニットの仕様

型式	ES-2B
定格電圧	AC100V 50/60Hz
動作感度	震度5強相当
取付水準許容値	鉛直に対し±5°以内
電源表示	LED(通常時:緑色点灯 動作時:赤色点滅)
遮断出力	N極通電方式
外形寸法	90×34×46.5mm(突起部を含む最大)

- (注) 取り付け場所での振動を感知して遮断するため気象庁の震度発表とは異なる場合があります。
- (注) 結露・氷結する場所に取り付けけないでください。結露・氷結すると主幹漏電ブレーカを動作させて停電します。
- (注) 感震センサーユニットを接続したままでは極間の絶縁抵抗は測定できません。測定する場合は、感震センサーユニットと過電圧検出リード線を外して測定してください。

感震動作機能について

1 感震動作機能

地震波を感知すると約3分後に漏電ブレーカへの遮断信号を出力します。



2 地震波感知記憶機能

地震波感知から3分間以内に停電が発生すると、地震波感知を記憶して、復電時すぐに漏電ブレーカへの遮断信号を出力します。

3 停電補償機能

停電後8秒以内に地震波を感知すると、記憶して、復電時すぐに漏電ブレーカへの遮断信号を出力します。

停電発生
8秒以内

地震波を感知

停電中

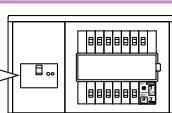
約3分後

停電中

停電中

主幹漏電ブレーカ

- OFF
- 漏電表示ボタン(黄)が突出



主幹漏電ブレーカが切れて電気を遮断します。

■ 内線規程で、感震遮断機能付住宅用分電盤の取り付けが「勧告」になりました。

● 勧告 地震時等に著しく危険な密集市街地の住宅などへの施設

● 推奨 上記以外の地域

1. 感震動作機能

震度5強相当の地震の揺れを感知したとき、電源ランプが点滅し、ブザーが鳴動して、約3分後に主幹漏電ブレーカを遮断します。

- 動作時: 電源ランプが、緑色の点灯状態から赤色の点滅状態になり、ブザーが鳴動します。

2. 地震波感知記憶機能

地震の揺れを感知してから主幹漏電ブレーカが遮断されるまでの3分間に停電が発生すると、地震があったことを感震センサーが記憶し、復電時に主幹漏電ブレーカをすぐに遮断します。

3. 停電補償機能

停電して8秒以内に地震の揺れを感知したときは、復電時に、主幹漏電ブレーカを遮断します。

4. リセット機能

地震の揺れを感知してから主幹漏電ブレーカが遮断されるまでの3分間にリセットボタンを押すと、地震の揺れを感知した記憶を消去し、初期状態に戻ります。

- 電源ランプが、赤色の点滅状態から緑色の点灯状態に戻ります。ブザーの鳴動は、停止します。

5. テスト機能

テスト機能で動作を確認できます。

- テストボタンを短押し(2秒未満)⇒感震動作と同様、光と音でお知らせし、約3分後に主幹漏電ブレーカを遮断します。
- テストボタンを長押し(2秒以上)⇒ランプの点滅とブザー鳴動を省略して、すぐに主幹漏電ブレーカを遮断します。

■ 感震ブレーカはなぜ取り付けるの?

阪神・淡路、東日本ともに大規模地震では、電気が起因の電気火災が約60%以上を占めています。自分と同時に地域全体で取り付けを進めることで、電気火災の発生と延焼を最小限にとどめ、早期復電やインフラの早期復旧に貢献できます。

■ なぜ約3分後に遮断なの?

ブレーカが遮断するまでの約3分間あかりを確保でき、避難の際、足もとの注意に貢献できます。

1365-10 感震遮断機能付住宅用分電盤

1. [「地震時等に著しく危険な密集市街地」の住宅などへの施設]

「地震時等に著しく危険な密集市街地」の住宅などには、感震遮断機能付住宅用分電盤を施設すること。(勧告)

(注) ここという住宅などには、住宅のほかに、住宅用分電盤を施設する店舗、事務所などを含む。 出典: (一社)日本電気協会「内線規程」JEAC8001-2016]